

新年を迎えて考えてみたいこと



第2学年主任

76期生のみなさん 新年、おめでとうございます。

今年度は進路のことで自分の適性を考えたり、ときには自分の内面とも向き合ったりしていると思います。進路の方向性が定まった人もいるでしょう。これから、3年生に向けて受験の準備や、具体的な行動へ結びつけるために、勉強の計画を立て始めている人もいます。いちど、勉強する目的を原点に立って考えてみませんか。

今回は勉強について。2年生は入学以来、9度の定期考査や自分の学力を把握するための模試を経験してきました。人によっては資格試験に挑戦する人もいたでしょう。しかし、全員が一度立ち止まってつぎの問いを考えてください。「勉強とテスト勉強のちがい」を。

テスト対策に偏る勉強は、本来、勉強する本質からみれば無関係です。勉強は勉強、テスト対策はあくまで対策であり、両者はまったく別物です。志望校合格に向けた受験対策である模試もテスト対策です。

これは(知能分野で研究成果の蓄積がある)心理学の指摘する測定の問題が含まれています。測定方法や(得点を取るための対策の)手法が公開されると、人はその点数だけに意味を見だし、その得点だけを伸ばそうとします。これは、大学生や社会人になっても同じことがいえます。思いちがいをしているなら、**勉強とテスト対策のバランスはとってください**。テスト対策だけにこだわる人は止めようがなくなり、勉強の本質から遠ざかってしまうからです。

受験生であっても勉強する高校生の立場は変わりません。高校の勉強は広汎に取り組むようになっていきます。苦手な勉強や入試で活用しない科目の勉強もテストの結果に一憂することなく、地道に取り組んでください。

それはなぜか。大学にもよりますが、学業成績は GPA (Grade Point Average) といいます。この成績は就職選考や留学などの学内選抜の資料になります。受験対策だけを重視した人が大学に入学すると、どのような授業を選択するでしょうか。これは大学が抱える測定の問題です。GPA(の結果)を高くする(対策の)ために一部の学生は、「単位を取りやすい授業」「優しい教授の授業」はとるけれど、「難しいけどためになる授業」はとらなくなるでしょう。

大学にかぎらず、進学先の勉強は、無数の専門用語を知ることです。興味があるのに、その専門用語がわからない。そのときはすぐに辞書や事典で調べ、確認する。これは勉強といえます。また、自分で考えて理解できなかつたら、先生に質問してみる行動も大切です。勉強は一生かけてできるものなので、あらためて勉強する本質を各自で考えてほしいと思い、書いてみました。参考にしてください。